

剣道で学んだこと

北海道

砂川英明館

小学5年 石丸 睦 貴

ぼくは、小学校三年生の時から剣道を始めました。きっかけは、体力がなかったので体力をつけようと思ったことが第一でした。ぼくは、剣道をする前、バスケットボールを習っていたけど、人が多すぎて全然運動ができなかったので、体力のつくスポーツを探していました。すると急に（大好きなアニメのキャラクターみたくなるのには剣道だな。）と、思いついて剣道に興味がわいてきました。

そしてもう一つ。ぼくは小さいころ、友達が少なかったので剣道を習えば、友達が増えると思った事の二つがきっかけです。

そして、剣道のできる場所を探していると、母が「砂川市で剣道やっているよ。」と、教えてくれたので、さっそく見学に行きました。そこは砂川錬心館でした。みんな礼ぎ正しく、楽しそうでした。剣道体験をしていると、さっそく「友達になろうよ。」と、声をかけてくれた人がいました。ぼくはうれしくて、すぐに剣道をやろうと、決めました。

剣道を始めて最初のけい古は、鬼ごっこや足さばきなどの基本けい古で、とても楽しくけい古をしていました。少し上達し、面を着けるようになると、面手ぬぐいを正しく着けたり、面ひもを後ろでしばったりするのがとてもむずかしく、家で何度も練習しました。とても大変だったけど、出来るようになってうれしかったです。

試合に出られる「特錬」に上がると、けい古時間がものすごく長くなり、回数もふえたので、とてもつらくなりました。（もう剣道をやめてしまおかな。）と、思いました。しかし、同じ時に剣道を始め、先に特錬になった仲間ががんばっているのを見て、（自分より、年下の子達に負けてられない。）と、続ける気持ちになりました。

今年になってから、ぼくも個人の試合に出られるようになりました。試合に

出てみると、さっぱり勝てないです。（試合は、むずかしいなあ。どうやったら勝てるんだろう。）と、なやんでいました。そしてぼくは、普段、先生に指導されている左足の引き付けのおそさが原因だと、気づきました。それと、せめようとしすぎて、一足一刀の間合いではなく、近間になってしまうことも原因だと、気づきました。（だから、相手に一本取られてしまうのか。それなら、ふだんのけい古の時は、足さばきを意識してやろう。）と、思いました。

ぼくは団体戦に出た事はありません。でも、補員としてチームのために頑張れる事があると思っています。例えば、仲間を応えんしたり、ドリンクバッグを運んだり、スコアをつけるなどです。チームが勝てるように、自分にできることを見つけ、進んで動くようにしたいです。こういう一つ一つの積み重ねで、自分も強くなって成長できるのだと思います。

先日の大会では、先ばい達の試合を見て、チームワークの大切さを学びました。先ばいたちは、次に試合にのぞむ仲間を勇気づけたり、敗れた人をはげましたりしていました。他にも、仲間の竹刀が試合中に折れた時に、すぐに竹刀を取り出して、わたしていました。ぼくはまだ、仲間の様子を見て、気にして動くことはできません。でも、いつかは先ばい達のように周りをよく見て、仲間のために行動できるようになりたいです。

まずは、普段の生活からぼ一つとせず、よい行動をしている人のまねをしたいと思います。そして、相手の気持ちをよく考えて、行動したいです。

最後に、つらい時にも、いつも支えてくれている仲間、先生方、そして家族に感謝をして、これからも剣道を続けていきたいです。そして、一生けん命けい古に、はげむすがたを見せたいと思います。

ぼくの目指す姿は、冷静な判断のできる人、そして、何よりも心の熱い剣士になる事です。